point 2
学習の進め方が分かりやすい教科書

「学習の流れ」が見える

活動の場面ごとに、学習をサポートする投げかけを示しました。
活動の見通しと振り返り、表現と鑑賞を関連させる問いによって、主体的・対話的で深い学びへ導きます。

学習をサポートする投げかけ

- 導入の言葉
- 学習のめあて
- 表現のヒント
- 鑑賞のヒント
- 振り返り

3・4 上 p.22–23「トントン どんどん くぎうって」

「指導と評価の一体化」の実現に向けて

「学習のめあて」では３観点を５項目に細分化し、育てたい力をより明確に分かりやすく示しています。「思考力、判断力、表現力等」は、発想や構想のめあて（A 表現）と、鑑賞のめあて（B 鑑賞）の両方を示し、表現と鑑賞を往還しながら活動することを大切にしています。めあての５項目は、そのまま評価規準の観点につながります。

- 知識及び技能 ― 知識・技能
- 思考力、判断力、表現力等 ― 発想や構想・鑑賞
- 学びに向かう力、人間性等

ICT 活用 QR コンテンツはどんな場面で使うの？

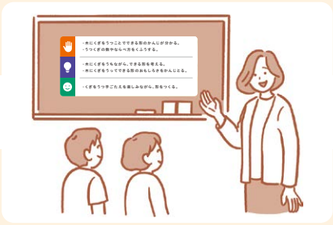
本題材であれば、活動の導入で「くぎの打ち方」を動画で確認したり、活動の途中で発想を広げるために多様な児童の作品を鑑賞したりすることができます。

ICT 活用 について ▶ 詳しくは、別冊『ICT 活用でもっと深い学びを！』、本書 p.36

教科書を活用した授業例

意欲を引き出す 導入の言葉

題材名の下に、活動への意欲を引き出す投げかけの言葉を示しています。



学習のめあて を確認

資質・能力の三つの柱に対応しためあてで「その題材で何を学ぶのか」が分かります。

表現のヒント を投げかける

発想を広げる方法など、特に大切なめあてと関連させて、具体的な手立てを示しました。

学びを深める

鑑賞のヒント を投げかける

掲載作品のどこに着目するとよいかを示しました。 学級で作品を鑑賞し合うときに投げかけ、対話的な学びを促すこともできます。

活動後の 振り返り

活動を終えて、どのような気付きや学びがあったのか、学習を振り返るための投げかけを示しました。

point 2
学習の進め方が分かりやすい教科書

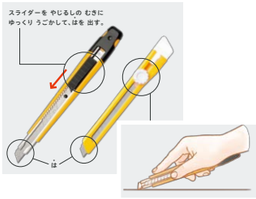
徹底した安全指導

全ての子どもが材料や用具について安全で適切な扱いができるように、分かりやすく丁寧に示しています。子どもたちの造形的な創造活動を支えるために、材料・用具の安全な取り扱いを知り、身に付けることは大切なことだと考えています。

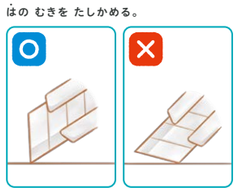
巻末資料「材料と用具のひきだし」では

見やすく、すっきりとしたレイアウト

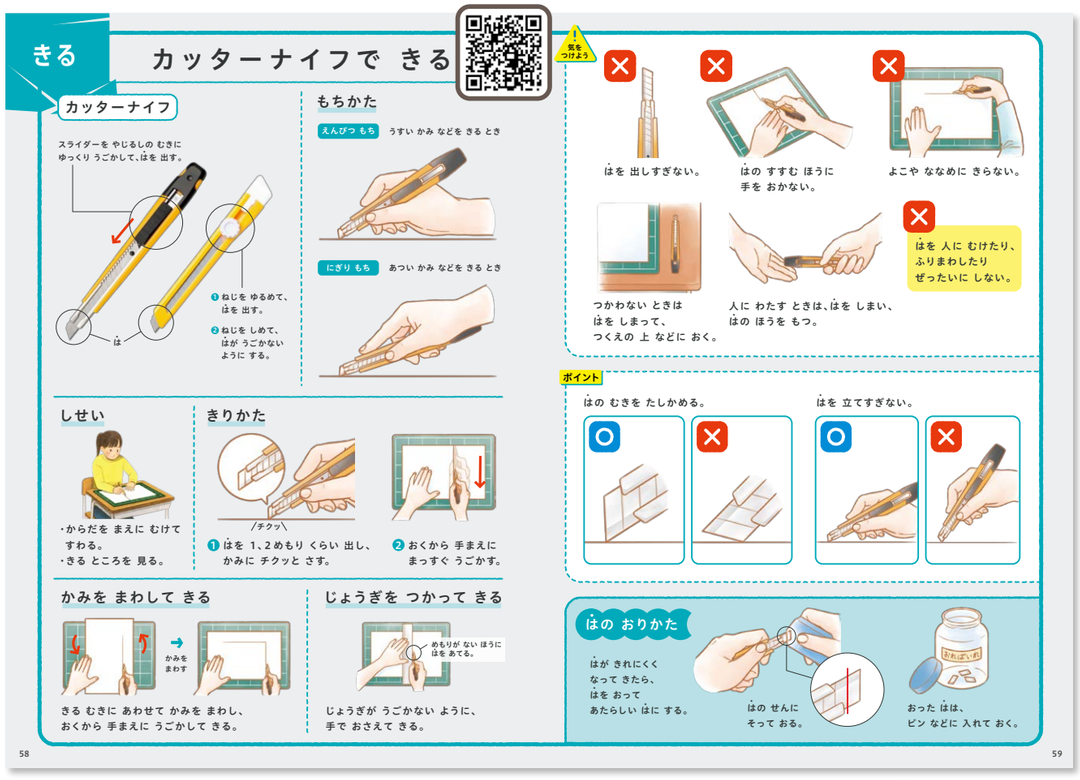
文字だけではなく、基本的な使い方やポイントを分かりやすいイラストや写真とともに示しています。また、各項目の区切りが分かりやすいように、間に線を引くなどの配慮をしています。具体的に見せることでだれもが等しく学習活動を行うことができます。



イラストや写真と一緒に



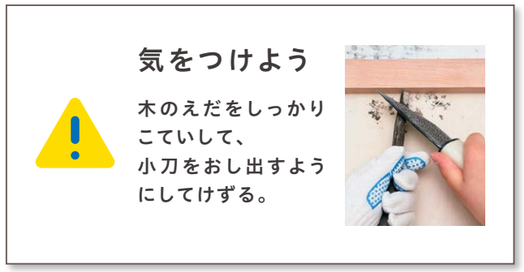
○×で分かりやすく



1・2下 p.58-59「カッターナイフで きる」

題材ページで

授業中、一緒に確認



3・4上 p.36-37「これでかきたい」

気をつけよう

写真やイラスト付きで、安全指導を掲載しています。

3・4上 p.22-23「トントン どんどん くぎうって」

材料や用具について

題材ページでは、その題材で使う用具を分かりやすいアイコンで示しています。「材料と用具のひきだし」の該当ページも確認することができます。

ICT活用 動画で

一人ひとりの学習進度に合わせて

QRコンテンツ

題材ページにある二次元コードからアクセスすると、用具の使い方・技法動画を視聴することができます。その題材で初めて扱う用具から既習の用具まで、安全で適切な使い方を確認したいときに使えます。一人ひとりの学習の進度に合わせて、各自の端末で確認してもよいですし、授業中、モニターに映しておき、子どもたちがいつでも見られるようにしておくといった活用もできます。

「思い出そう」で

既習事項を確認できる

5・6下 p.62「木を組み立ててつくる」

5・6下 p.22-23「くるくるクランク」

思い出そう

当該学年より前に習った用具が登場するときには、「思い出そう」のコーナーを用意。安全指導に関わる既習事項を示し、適切な取り扱いの確実な定着を図っています。

point 2
学習の進め方が分かりやすい教科書

題材と一体的に使える充実の資料

特設ページ「教科書美術館」や「広がる図工」を、関連が深い題材と連動させて活用することができるよう配置をしています。表現と鑑賞を往還しながら学びを深めていくことができます。

「教科書美術館」で

題材の活動がより深まる

「教科書美術館」では、伝統文化や諸外国の作品などを掲載しています。「教科書美術館」は、関連する題材のページと連続して配置しており、題材と一体的に扱いながら活動を深めていくことができます。また、QR コンテンツでは、美術作品を拡大して鑑賞したり、解説動画を視聴したりすることができます。

Index

	教科書美術館	題　材
1・2 下	p.44-45「からだで 見つける かたち・いろ」	p.42-43「だんボールに 入ってみると !?」 p.47「つないで つるして」
3・4 上	p.24・29「しぜんの色」	p.25-26「土をかんじて」 p.27-28「お気に入りの葉」
3・4 下	p.22-23「体の形」 p.42-43「光から生まれる形・色」	p.24-25「体でかんしょう」 p.40-41「光とかげから生まれる形」 p.44-45「光のさしこむ絵」
5・6 上	p.22-23「身近なものを見つめて」	p.24-25「あの時あの場所わたしの思い」
5・6 下	p.38・41「受けつがれてきた形」	p.39-40「もようから見つけて」

教科書美術館

3・4 下 p.22-23「教科書美術館 体の形」

表現と鑑賞を往還しながら

体の動きに注目してみよう。

題材ページ

3・4 下 p.24-25「体でかんしょう」

「広がる図工」で

学びを生活や社会につなげる

「広がる図工」では、廃材を再利用した作品や地域で協力して作品を展示する様子など、さまざまな事例を掲載しています。3・4 下の「すてられそうなものがよみがえる」では、限られた資源を大切に使って作品や商品をつくる事例を紹介し、次ページでは、だんボールを再利用して作品をつくる題材を掲載しています。「広がる図工」での気付きを作品づくりに生かせる紙面構成になっています。

広がる図工

3・4 下 p.32-33
「広がる図工 すてられそうなものがよみがえる」

使い終わっただんボールを、生活に使えるものに生まれ変わらせる

題材ページ

3・4 下 p.34-35「おもしろだんボールボックス」

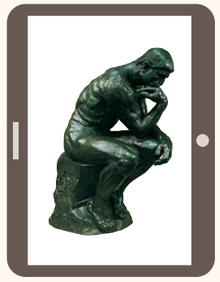
ICT 活用

QR コンテンツでは

美術作品や作品の映像を鑑賞できる

活動の前後に、美術作品を拡大して鑑賞したり、動画を視聴したり、さまざまな場面で活用できます。

考える人



3・4 下 p.24-25
「体でかんしょう」より

10 番目の感傷（点・線・面）
クワクボリョウタ

3・4 下 p.42-43
「光から生まれる形・色」より

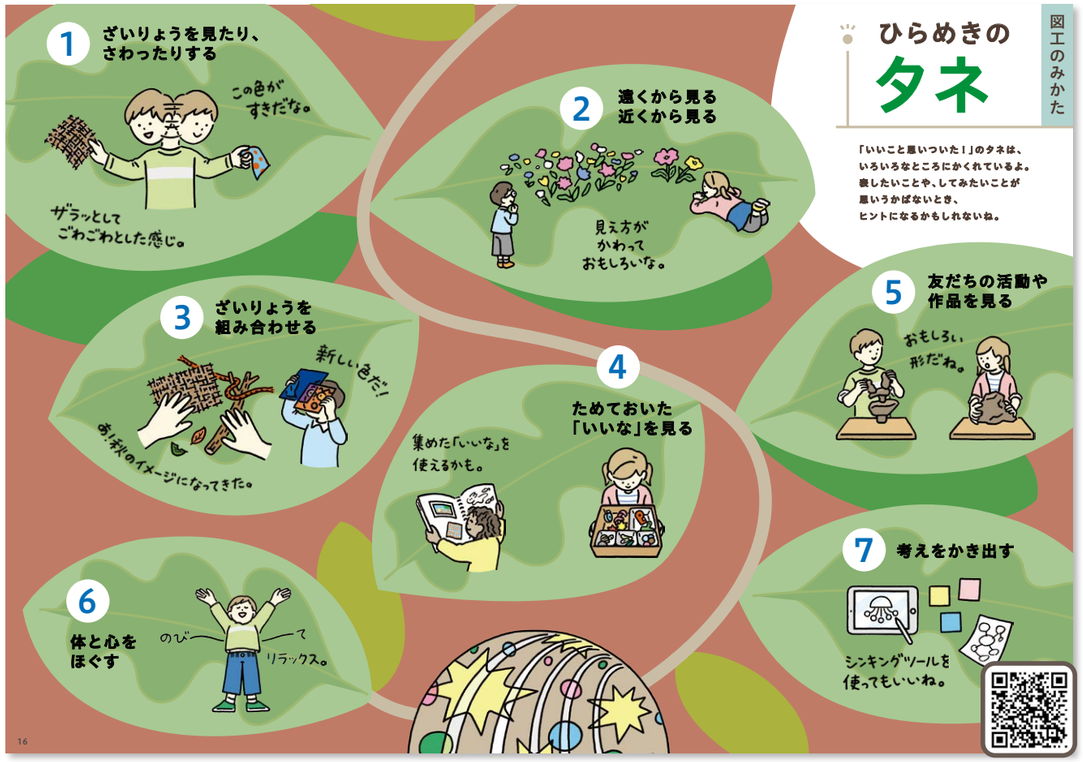
point 2
学習の進め方が分かりやすい教科書

発想を広げるしかけ

子どもたち一人ひとりが自分の納得できる形や色を探し出すことができるよう、発想や構想、表現のヒントになるコーナーを設けています。試しながら考え、答えを探し出す力を育みます。

「いいこと思いついた！」を引き出す

「図工のみかた」では、子どもたちの発想や構想、表現のヒントになる投げかけを写真やイラストとともに掲載しています。例えば、3･4 下の「ひらめきのタネ」では、「何をしていいか分からない」「つくりたいものが浮かばない」ときに、試してみたいことを紹介しています。発想に悩む児童に、「図工のみかた」を見て考えてみるよう声をかけるなど、授業の導入や展開などさまざまな場面で活用することができます。



3・4 下 p.16-17「図工のみかた ひらめきのタネ」

Index

1・2 上 p.30-31「にて いる もの なあに」
1・2 下 p.24-25「わたしの お気に入り」
3・4 上 p.34-35「手と道ぐ」
3・4 下 p.16-17「ひらめきのタネ」
5・6 上 p.46-47「どう見る？ どう見える？」
5・6 下 p.20-21「なんでこの形？」

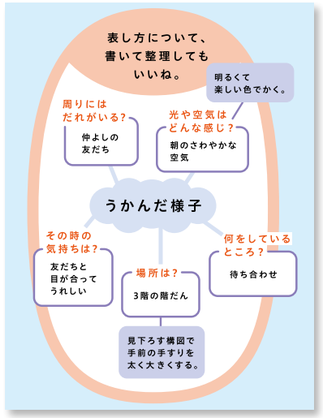
シンキングツールで

表し方を整理し、表現を深める

高学年ではシンキングツールを使って、思い浮かんだ様子や自分の考えを可視化しながら表したいことを整理する方法を提案しています。

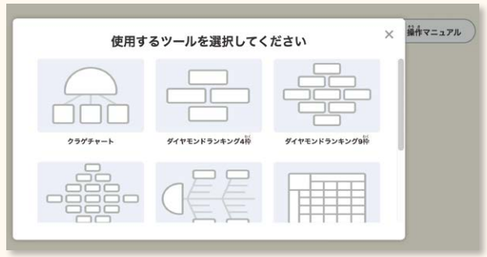
Index

5・6 上 p.8-11「心のもよう」
5・6 上 p.24-25「あの時あの場所わたしの思い」
5・6 上 p.32-33「言葉から思いを広げて」
5・6 下 p.26-27「わたしの大切な風景」



5・6 下 p.26-27「わたしの大切な風景」

ICT活用 QR コンテンツでも



シンキングツールをブラウザ上で使うこともできます。

アプリ「シンキングツール」

つくり方のヒントで

表し方・仕組みを知る

つくり方の例や基本的な仕組みについて、イラストで分かりやすく示しています。つくり方を理解して、見通しをもって取り組むことができます。

3・4 下 p.34-35「おもしろだんボールボックス」

「図工ノート」に

かきためて発想・構想につなげる

図工ノートは、「アイデアをまとめるとき」「かいたものを記録したいとき」などに活用できます。かきためたものは、アイデアの断片を見付けたり、発想を広げたりするきっかけになります。

Index

3・4 上 p.6-7「かいて見つける わたしのすきなもの」
5・6 下 p.6-7「絵の具スケッチ」

5・6 下 p.6-7「絵の具スケッチ」